

司令長官 (印)

四集参考復第十九號

復員業務参考送付件通牒

昭和二十年十月十七日

田中集團參謀長

隷(指揮)下一般

別冊復員業務ノ参考(其ノ二)(支那派遣軍復員本部

調製、第二十三軍司令部複寫)配賦ニ付業務處理ノ

資ニ供マラレ度

追テ「附録第三、死者ニ關スル留守業務ノ参考」及「附録第

四、復員ニ伴フ金錢經理ノ参考」ハ別送ス

尚「参考(其ノ三)」ハ未著ナルニ付到着次第送付スニ付テ

申添フ

海軍省備付(ハ) .21.1.24

0702

復員業務ノ參考(其二)

昭和二十年十月
支那派遣軍復員本部

0703

緒言

第一章 復員一般ノ要領

第二章 乘船迄ニ於ケル復員業務

第一節 人員ノ處理

第一款 生存者

其一 復員完結迄ノ將校、高等文官ノ處理

其二 其他ノ軍人、軍屬

第二款 還送患者

第三款 死歿者

第四款 生死不明者

第五款 遺骨

第二節 經理

第一款 金 錢

其一 歸還部隊ノ實施スヘキ事項

其二 乘船地上級先任指揮官所屬經理部ノ業務

第二款 衣糧

第三款 需品

第四款 施設

第五款 最終決算處理

第六款 通貨交換及私有財産處理

第三節 醫務

第四節 會報及訓練

第三章 乘船後ニ於ケル復員業務

第一節 人員ノ處理

第二節 經理

第一款 金錢

第二款 衣糧

第三款 需品

第四款 最終決算處理

第三節 醫務

第四章 上陸地ニ於ケル復員業務

(復員業務ノ參考其二)

第五章 其ノ他

結言

附錄第一 支那派遣軍復員本部ノ機構及業務ノ大要

附錄第二 陸軍第一九〇九號外征部隊歸還ニ伴フ上陸地支局

筆ノ件違(要旨)

附錄第三 死没者ニ關スル留學業務ノ參考

附錄第四 復員ニ伴フ金錢經理ノ參考

0706

緒言

今次復員ハ、大詔ニ基キ一齊ニ示テ收メシ派遣軍ガ其全カヲ夫々聯合軍進駐下ノ内地ニ歸還セシメ上陸當日其復員ヲ完結スルモノニシテ規模極メテ尠大ニ而モ迅速整齊ナルヲ要シ眞ニ皇軍最後ヲ飾ル最大ノ業務ナリ

而シテ終戦後ノ内地ノ慘情ト將兵ノ將來トニ思テ馳スルニ歸還將兵ト雖モ或ハ戦災ニヨリ家職ヲ失ヒ或ハ同胞ノ消息ヲ絶ツ等出征前ト全ク異ナレル環境ニ於テ新ナル發足ヲナサザルベカラズ其ノ苦難圖ノ難キ狀況ニアリ況シヤ戦歿將兵遺族及傷病兵ノ今後ニ於テテヤ

今次復員ハ右ノ環境ニ於テ遂行セラルル困難特異ナル復員ナルモ派遣軍從來ノ復員準備ハ特ニ其ノ中核タルベキ人員處理及金銭經理就中軍費ノ最終決算處理ニ於テ諸般ノ情況ニヨリ不整備未完ノ狀況ニアリ茲ニ於テカ復員業務ニ職ヲ奉グル者緊禪一番關係法規ニ精通シ絶ヘザル研究演練ヲ重ネ之ガ業務ヲ飛躍的向上ヲ圖リ以テ之ガ完璧ニ遺憾ナキヲ期セザルカラス

0707

殊ニ國家再建ニ於ケル外征軍ノ特ニ派遣軍ノ地位ニ思テ致シ愈々其ノ重責ニ
感奮シ私ヲ棄テ公ニ就キ長期精進一路ニ勵ミ教導精置宜シキヲ制スルヲ
要ス

本條考ハ以上ノ目的ヲ達センガ爲復員業務特ニ人事處理經理處理遂行ノ參
考ニ供シハ以テ業務ノ円滑促進ヲ圖リハ以テ業務遂行ノ進捗ヲラシメ
ントシ忽々ノ間編輯セルモノ固ヨリ完璧ニアラザルト雖モ敢テ刷ニ附シ配
布スルモノナリ

第一章 復員一般ノ要領

一 序

今次復員ハ内地臺灣上陸當日完結スル如ク定メラレ且宿營給養ノ関
係上多數ノ残務處理者ノ残留ヲ許サザルヲ以テ復員ニ伴フ業務ハ一切乘船

前ニ完結スルヲ要スルハ先ニ考ヘテ置カ

斯レテ復員業務ノ要領ニ關シテ先ニ考ヘテ置カ

今次復員業務ハ緒言ニ述ベル如ク從來ト頗ル其ノ趣ヲ異ニス比が中核ス

ルベキ人員整理ニツキ考察スルニ尨大ナル人員ヲ短時日ニ復員セシムルヲ要スルニ拘ラズ
作戦上ノ要求ニ基テ部隊ノ移動ノ多發ニ伴フ人員混淆轉属多キニ加ヘ人員ノ
局地處理現地召集及解除等ノ問題アリテ人員整理頗ル困難ナル狀況ニアリ
而シテ甚シキハ戦死者ニシテ諸般ノ事項未處理ノ者生死不明者ノ折属不明
者又ハ三重折属者等其ノ例枚擧ニ遑アラズ

更ニ經理業務ニツキ考察セバ逐次内地ニ上陸スル歸還解兵ニ對シ至短時間ニ確實
ニ諸給與ヲ實施セザルベカラザルノミナラス派遣軍最終決算處理ハ現下國家
内外ノ情勢上最モ綿密確實寸分ノ瑕瑾ナキヲ要スルニ拘ラス現況必ズシモ紋上
ニ準備ニ完キヲ期シ得ザル狀況ニアリ

ニ乘船迄ニ於ケル復員業務

茲ニ於テカ乘船迄ニ於ケル復員業務ノ主体ハ一ハ以テ混淆セル人員ヲ留守名簿等
トノ照應ニヨリ之ヲ確實ニ掌握シテ生死不明者折属不明者等ヲ絶無ナラシムルト共ニ特
ニ死没者ノ諸處置ヲ速急ニ畢リ以テ其遺族ニ派遣軍ノ誠心ヲ布キ傷病者ノ書類
ヲ完備シテ其ノ恩典拜受ノ時期ノ速カナルベク努力シ諸給與ノ迅速的確ト相俟キ

0709

歸還將兵及遺族ヲシテ速カニ心氣一新國家再興ヘ向躰セシムル基礎ヲ與ヘハ以テ軍費ノ決算處理ヲ適確ニシ派遣軍金銭處理ニ関スル内外疑惑ヲ招クザル完壁ノ資料準備スルニアリ之ガ爲必要ナル書類ハ速急ニ完備セラルベラス然ルニ從來ノ例ニ徴スルニ規定研究不充分ニシテ不備書類ノ多キ遺憾ニシテ後章ニテ説明スル事項ニ関シテハ特ニ點檢ヲ加フルヲ要ス

斯クノ如クニシテ準備書類完備セラレ各員掌握セラレタル各部隊ハ各乘船地ニテ其ノ高級先任指揮官ノ乘船命令ヲ待機シ此ノ間或ハ乘船地ニ於ケル復員會報ニ出席シテ上司意圖ノ徹底ヲ圖リ或ハ復員演習ヲ實施シテ陸地ニ於ケル復員要領復員心得等ヲ教導シ或ハ金銭經理處理ノ點檢等ニ勉ムルモノトス

此ノ際乘船地高級先任指揮官ハ恩典係屬官或ハ總司令官配屬復員業務指導要員等ヲシテ適時各部隊ノ書類就中死歿者恩典關係書類等ノ檢査ヲ實施セシメテ其ノ完壁ヲ期シ不備ナル儘ニ乘船セザル如ク指導ヲ加ヘラルコト緊要ナリ

尚乘船ニ方リ金銀塊兵器骨董品等ノ禁制品ヲ携行スルガ如キコトアルハ皇軍ノ威

三之が指導を依頼され、必要に応じて、各港に...

三 乗船後ノ復員業務

斯ノミテ乗船セル各部隊ハ船中異動事項ヲ細大洩サズ整理スルト共ニ金銭處理輸送處理運輸指揮官ヲ指定其他ノ準備シツテ陸地ニ到着セシメ業務進行ヲ備ヘツ
ソ内地港灣投錨ノ機ヲ待テハ輸送船港灣到着後檢疫間ヲ利用シ復員ニ関
スル命令不達及所要ノ連絡ヲ實施セラルルニ依リテ輸送指揮官ハ隊長
以上各隊長及副官ノ各隊高級主計將校及請求受領代人名主計將校並獨立
部隊高級軍医將校等ノ諸官ヲ適當先位置ニ集合セシメ置クヲ要ス...

四 上陸地ニ於ケル復員業務ニ關スル要領

部隊行動ノ概要...
參假陸警第一九〇九號(附錄第二)ヲ以テ各上陸地ニ上陸地支局設置セラレテ
以テ上陸地ニ於ケル復員業務ノ要領ニ関シテハ派遣軍トシテ一方的ニ決定シ得ザ
ル狀況アリ。然レ共今ニ於テ復員業務ノ如ク復員業務ノ主体ヲ乘船前度
理ヲ要スル者ニ繼テ陸地支局ノ連絡ノ結果變動ルル者ヲ豫期シ上陸

地ニ於ケル復員業務ニ関シ説明ヲ加ヘ以テ各部隊復員準備促進ニ資シ且今後
補修ニ俟ツ所アラントス先ヅ目下豫想セラレル内地港灣到着後各部隊一搬ノ
行動要領別紙第一ノ如シ

檢疫及命令受領

即チ輸送船内地港灣ニ到着スルヤ直ニ檢疫實施セラルベク約ニ乃至三時間ヲ要スシ
此ノ間各部隊ハ上陸準備ヲ整ヘツン前項檢疫ヲ受クルト共ニ其ノ豫メ集合セル命令
受領者ハ復員本部ヨリ派遣セラレル連絡官ヨリ復員ニ関スル命令及上陸後ノ行
動其他ノ事項ニ関スル連絡ヲ受ク

復員規定第十五條ニ示サレタル提出書類ハ此ノ際同規定ノ区分ニ從ヒ復員本
部ニ提出セラルルヲ以テ豫メ準備携行シ置クヲ要ス

尚右ノ中復員管理官ノ決裁ヲ受クテ書類ハ兼船前復員管理官ノ決裁ヲ受ケ
置クヲ要ス

下船

檢疫終了ト共ニ通常輸送船ハ岸壁ニ着岸スベク各部隊ハ逐次下船ス

0712

此、際遺骨、船内死者屍、患者、經理官、下船ヲ優先トシテ爾後ノ業務遂行ノ圓滑ヲ圖ルヲ可トス

金錢交付

上陸後復員業務ノ主体ハ經理業務處理就中金錢交付業務ナリ

先般總司令部ニ於テ五ノ〇〇人乘船部隊ニ対スル研究演習ヲ實施セル所爾他條件ノ制限ヲ受ケズシテ金錢交付業務ノ爲メハ時間ヲ要シメル其ノ中約三時間ヲ受領證其他書類ノ調定ニ要セルニ鑑ミ復員業務ノ円滑ナル遂行ノ爲ニハ關係書類ノ作製ニ特ニ誤リナキ様細心ノ注意ヲ以テ準備スルコト緊要ナリ

又歸還將兵ハ規定第二十七條ニ基ク金錢ノ交付其他ノ諸業務終了セバ各部隊復員式舉行後夫々分進歸郷スルコトナルベキヲ以テ金錢交付ハ最モ確實迅速ニ終了スル如ク各部隊毎ニ豫メ研究ヲ加ヘ置クヲ要ス

爾余ノ處理トノ關係

又右ノ金錢處理ト共ニ需品以携行私物品處理復員本部ニ於ケル人員處理遺骨屍處理等カ併行實施セラルルヲ以テ金錢ノ支給現無キ如ク特ニ幹

部ノ温平親心ノ注意ヲ要ス

之ガ爲幹部ハ特ニ使役者等ノ掌握ニ萬般ノ注意ヲ拂フコト緊要ナリ

最終決算處理

又上陸地ニ於テハ復員規定第九條ニ基ク先發者ニ依ル支那派遣軍軍費ノ最終決算處理ハ金錢ニ関スル派遣軍最後ノ總締括リトシテ実施セラルルハ復員規定ニ明示セラレアル所ニシテ是ハ後日會計検査院ノ検査ヲ受クルノミナラス帝國議會ノ審議ニ附セラレ派遣軍ノ戰費使用ノ公明正大ヲ立證スル重要資料トナルモノナルヲ以テ之ガ整理ニ任ズル諸官ノ勞苦固ヨリ圖リ難キモノアリト雖モ最モ嚴正確實ニ実施セザルベカラズ

復員完結

斯クテ復員式ニ於テ復員ニ関シ賜リタル勅語ヲ奉戴ノ後主力ハ宿營スルコトナリ且ニ新國家建設ヘノ門出トシテ各々歸郷ノ途ニ殘務整理要員ハ復員本部ニ現役解枝ハ上陸地管轄軍管区司令官ノ指定命課ニ從ヒ夫々ノ任地ニ分進スルニ至ルベシ

此ノ際内地ノ状況上歸郷先不明者ヲ最小限ニ限定致シ度希望シテリ
又第十四條殘務整理要員ハ特ニ恩典關係業務ニ精通シアル人員ヲ選定置
クテ爾後ノ業務遂行上便トス
又復員ニ伴フ人事處理ハ復員式迄ニ終了スル如ク取計ハルル豫定ナリ

五、結

右ハ復員一般ノ要領ヲ概説セルモ困難ナル復員業務ヲ迅速整齊ニ處理
センガ爲ニハ幹部以下業務ノ微ニ至ル迄深刻ナル研究ヲ重ヌルノ要切ニ大ナ
ナルモノアルヲ以テ上下一体心カヲ合シテ之ニ從ヒ以テ派遣軍ノ最後ヲシテ光
彩アラシメシコトヲ希念シテ止マサル所ナリ

第二章 乘船前ニ於ケル復員業務

第一節 人員ノ處理

人員ノ處理ハ今次復員ノ主務ニシテ就中乘船前各部隊ノ努力スベキ事項ナリ
而シテ總軍ニ於テ今度内地陸地ニ派遣軍復員本部ヲ設置セル所以ハ右ノ各部
隊ノ努力ヲ結實セシメ派遣軍トシテ綜合的調査ヲ行ヒ以テ生死不明者所屬

0715

不明者ヲ絶無ナラシムルト共ニ死没者ノ恩典處理ヲ完璧促進セシメントスル
ニ外ナラス

之ガ助トシテ中國側ニ抑留(俘虜)セラレタル人員ヲ調査シツツアルハ各部隊
ノ既ニ米知セラレアル所ナルベシ

而シテ人員處理ノ爲留字名簿ノ整理ハ之ガ基礎ヲナスベキモノナルニ拘ラス之ガ
留字業務規程ニ基キ調製セラレアルガ如キモノ尠ナカラサルヲ以テ特ニ注意ニ
指導ヲ加フルヲ要ス

以下若干留字名簿點檢上ノ著意スベキ點ヲ述ブレバ左ノ如シ

一 留字名簿ハ各獨立部隊毎ニ調製シ之ガ整理ハ復員規定第二十六條ニ依
リ明確ニ實施スルヲ要ス

二 留字名簿ノ人員ハ復員規定第十五條ノ提出名簿ト人員數及人名ニ於テ總
ヘテ一致スベキモノナルニ拘ラズ其檢不十分ナルモノ多シ

第一款 生存者

其ノ復員完結迄ノ將校 高等文官ノ人事處理

0716

一復員完結前ニ於ケル人事處理ハ左記ノ外從前ノ要領ニ依ル

但シ轉役召集解除、退官ニ関シテハニ依ル

左記

人所管長官ハ管内ニ在ル指揮下部隊ニ屬スル將校ニ對シ本屬長官ト同

一ノ人事處理ニ任ズ

但シ處理結果ヲ本屬長官ニ通報ス(總ノ電第一三四五號)

又外征部隊所屬將校(將官大佐ヲ除ク)陸軍文官及同待遇者中他方

面部隊ニ轉補發令セラレタルモ赴任不能ナル者ハ最寄所管長官

並ニ是ト同等以上ノ權アル長官ニ於テ適宜其ノ隸下部隊ニ命補スルモノトス

但シ處理結果ヲ最寄所管長官ハ陸軍大臣及新(原)所管長官ニ報告(通

報)スルモノトス(人往特第三號)

ハ、任官進級及昇給陞等ハ昭和二十年人往第四二〇〇號中(准士官ヲノ特別補

充)ノ外實施セズ但シ死没者ノ任官進級、昇格陞等ハ所屬部隊復

員完結迄之ヲ續行ス(人往特外及陸人電第六七〇四號)

0717

二 所屬部隊復員完結時ニ於ケル人事處理ハ別紙第三依ル

三 内地港湾上陸時復員本部ニ提出スヘキ書類(總人第九八八号)左

如シ

一 總人電第二九〇号ニ係ル將校特別補充上申(人往第四二〇〇号第

三様式)(考科表寫ヲ除ク)ニ依ル

二 現役將校命課意見書

三 轉役希望者名簿

四 現役將校本籍地及歸郷豫定先臨見表

様式別紙

様式別紙

様式別紙

省略復員規定参照

其ニ其ノ他ノ軍人軍医

一、復員規定第十七條ノ適用ヲ確實ニ勵行スルヲ要ス

二、各部隊所居人員ニシテ現ニ掌握シテヨサル人員(分派遣等)ハ之カ事由ヲ留
守名簿ノ欄外ニ詳記スルヲ要ス

三、他隊ニ轉居ヤシモノニシテ被轉居部隊ヨリ本人到着ノ回答ナキニ拘ラズ
轉居者トシテ留守名簿ヨリ林殺スルカ如キ事トナキ様ニ注意ヲ要アリ

第一ニ款 還送患者

一、還送患者現地最終發送病院長ハ出發前患者ト還送患者連名簿ト
照合ヲ確實ニ實施シ過誤ナカラシムルヲ緊要ナリ

又回患者看護送員ハ内地收容病院受領員ト患者接受ノ際再度照合
ヲ實施シ患者ノ接受ヲ的確ナラシムルヲ要ス(規定三十三)

二、還送患者現地最終發送病院長ハ還送患者ノ病床日誌ニ付証據
書類ノ有無ヲ点檢シ不備不足ノモノハ速カニ各部隊ニ連絡シ此等

書類ヲ完備セシメ置クヲ緊要ナリ

但シ整備困難ノ規認(事實)證附書等ヲ就テハ病床日誌書紙
原因經過欄ニ本人ノ口述ニ依リ詳細ナル同調製資料ヲ作製シ
病床日誌ニ添附シ置クモノトス

三、各部隊ハ復員時入院患者ノ後送關係ヲ極力調査(關係病院並ニ本
人ノ通信等ヨリ)シ上陸後提出ノ院患者連名簿欄外ニ具体的ニ(轉送
年月日轉送先最近ノ動靜「治癒見込」或ハ重症、未還見込等)記載
シ爾後ノ人員調査ノ資ニ供スルヲ要ス(規定第十五條ノ二、
八)

四、各部隊ニ於ケル還送患者連名簿ハ復員規定附表第十二調製上ノ
注意一ニ依リ上陸後復員本部保管ノ還送患者連名簿ニ據リ調製ス
ルモノナレバ殘務整理員ハ上陸後速カニ復員本部(總務課)ニ付リ
調製スルヲ要ス(規定第十五條附表第十一)

五、規認(事實)證附書ハ公務ニ起因シ入院セル者並ニ公務ニ起因シ在隊中
ノ受傷將來恩給請求再發(時ニヨリヤ)等ヲ願慮セラルル者ニ就キ

調製スルモノトシテ調製ノ分ハ調査ノ上依製シ將來個人ノ救恤ニ遺憾ナキヲ期スルヲ要ス

復員本部トシテハ還送患者ニ就キ之カ調製漏ヲ調査シ資料ノ整備ニ努メアルヲ以テ各部隊長ハ上陸後復員本部(總務課)ニ判リ之ヲ利用シ整備スルヲ可トス(規定第ニ十條)

第ニ款 死 歿 者

一、復員規定第六條ニ示ス各部隊上陸地到着直後提出スヘキ書類中死歿者関係ニ於テ準備スヘキ事項左ノ如シ

ハ各種書類ハ乗船迄ニ調製ヲ完了シ爾後船中死歿等異動等アリタルト

キハ其ノ都度訂正又ハ調製ヲ行ハ常ニ完備シ置クニト堅ク要ナリ

(船中死歿者ハ死ニ区分ハ故意若クハ自ラ重大ナル過失ニ因ラサ
ルモノハ公傷(病)死トシ爾余ハ平傷(病)死トス)

ニ、死歿者連名簿及之ニ伴フ恩賞ノ功績書類(控、寫等一切ヲ含ム)ハ之ヲ一括

梱包シ包装上ニ(死)ト標識ヲ朱書シ生存者関係書類ト區別スルモノト

ス(規定第十五條)

3. 恩典関係證據書類ニ戰時名簿給與通報賞與ノ支給ニ必要ナル履歷書(資料)ヲ必ズ添付スルヲ要ス

4. 死歿者ノ恩典関係書類ニシテ資料等ノ關係上完全ニ整理シ得ザルモノハ附箋ヲ附シ其ノ理由ヲ附記シ置クヲ要ス
往々焼却ヲ理由トシテ整理セザル傾向アルヲ以テ嚴ニ指導ノ要アリ

第四款 生死不明者

一 各部隊ハ生死不明者ノ悉皆ニ付左記諸件ヲ詳記セル別紙ヲ生死不明者連名簿ニ添付スルモノトス(總參一電第五七五號)
ハ生死不明トナリタル前後ノ狀況

ノ採リタル搜索手段

ニ各部隊ハ生死不明者連名簿提出後ニ於テ新ニ發生處理セル左記事項ハ其ノ都度速カニ報告スルヲ要ス

ハ生死不明者(逃七)

2. 死亡確認(認定)(但シ證據不十分ナルニ拘ラズ復員ヲ期シ無理ニ
確認(認定)トセラルル向アルモ不明瞭ナルモノハ依然生死不明ト
シテ取扱フベキハ當然ナルニ付注意ヲ要ス)

3. 生存確定(他部隊ノ者ト雖モ確認シ得バ報告スルヲ要ス)

三、各部隊ハ歸投セザルモ中國側(延安軍其ノ他ヲ含ム)ニ抑留セラ
レタル人員判明セバ自隊他部隊ノ如何ヲ問ハズ其ノ抑留部隊
所屬部隊場所官氏名ヲ其ノ都度報告スルヲ要ス

四、生死不明者ヲ死亡確認(認定セラレタル場合ハ功績関係ヲ生
スルニ付各部隊ハ予メ之ガ功績列次名簿及功績名簿ヲ調
製提出シ置クヲ要ス(總參一電第五九二號)

第五款 遺骨

一、各部隊ハ別紙第四同第四ノ様式ニ依リ遺骨遺留品名簿及遺
留品目錄各三部ヲ調製シ上陸後復員本部(出張所)ニ
提出スルモノトス

0723

二遺留品ノ梱包ニ別紙第四ノ様式ニ據リ目錄ヲ添付シ更ニ包裝
ヲ確實ニシ本籍地留字擔當者住并氏名ヲ明記シ置クモ

ノ下ス

0724

第二節 經理

第一款 金錢

其一 歸還部隊、實施スベキ業務

一 復員ニ伴、諸給與金ノ請求受領代人ハ復員規定所定ノ支給金額官等
級代名進級昇給、有テハ調査シ乗船迄ニ同規定附表第十四ニ基キ左
記書類ヲ調製シ爾後機會アル毎ニ補簡訂正スルヲ要ス

左記

一 軍人ニ對シテハ附表第十四ノ一ニ依リ俸給給料、退職賞與受領證及
算出内譯書委任狀

一 軍屬ニ對シテハ附表第十四ノ二ニ依リ俸給給料受領證委任狀

註 復員本部(出張所)ニ殘留スル者(現役將校等)ニ對シテハ上陸前月迄

給與ノ行ヒ上陸時ニ於テハ退職賞與及三ヶ月分俸給前掛ハ
爲サナルモト給與通報ヲ携行セシムルヲ要ス

但レ本件ニ関シテハ一般復員者ト同様上陸時ニ交付スル如ク研究中
ナリ

二主計將校下士官ノ附属シテラザル部隊ハ前號受領証等ノ作製ニ困難
ナランモ之等受領証ヲ携行セザル場合ハ上陸地ニ於ケル請給與金ノ受領
ハ著ク遲延スルヲ以テ必ズ當該部隊ノ指揮官ニ於テ請給與金ノ受領
証ヲ作製シ携行スルヲ要ス此ノ場合受領証ハ乘船地經理部ノ點檢
ヲ受ケ修正シテ完全ナラシメ置クヲ要ス

三乘船歸還ノタメ決算整理(借入金トモ)ヲ完了セシ部隊ニシテ乘船
地ニ於テ待船其他ニヨリ經費ノ支拂ヲ必要トスルトキハ乘船地經理
部(又ハ其ノ指定部隊)ニ連絡シ上支拂ヲ請求スルモノトス

四乘船地ヨリ朝鮮上臺灣沖繩其他帝國地域外ニ直接歸還スル者
金錢給與ニ関シテハ乘船地經理部ノ指示ヲ受ケ急皆完了スルモノトス
支給スルキ通貨ノ種類其他ノ細部ハ進而總軍經理部ヨリ指示セラル

答ナリ 詳ニシテ 參照

0726

其ノニ・乘船地上級先在指揮官所屬經理部ノ業務

一 主計將校下士官所屬シアラザル部隊ト雖モ上陸後支給スヘキ諸給與金受領証同所屬書類等ハ所屬部隊又ハ指揮官ニ於テ作製携行スベキモノナルモ經理部ニ於テハ乘船前適宜ノ時機ニ於テ各部隊ノ受領書ヲ兵檢シ之ガ完璧ニ爲ルヲ要ス

二 乘船地ヨリ直接朝鮮中絶台湾其ノ他帝國地域外ニ歸還スル者アルトキハ金銭其他ノ諸給與ハ悉皆完了シアリヤ否ヤヲ檢査シ未了モノアルトキハ經理部ニ於テ之ヲ實施スルモノトス

第二款 衣 糧

一 乘船時ニ於ケル着裝携行被服ノ基準ニ關シテハ復員規定附表第十五ニ示サレアリ被服類ハ歸郷時各人ニ支給セラルベキモノナルモ假令内地に上陸時此ノ品種數量ニ不足ヲ生ズルモ上陸地ニ於ケル補填ハ不可能ナルベキヲ以テ乘船迄ハ乘船地ニ於ケル交付モ亦殆ド困難ナルベシニ之ガ整備ニ勉ムルヲ要ス但シ部ノ軍師團等ニアリテハ在庫ノ關係上折定ノ品種數量ヲ悉ク各人ニ交付スルハ困難ト豫想セラルモ特ニ飯盒水筒ハ船内及上陸地ニ於ケル給養實施上絶対必要ニ付不足ハ竹筒等ヲ以テ代用シ全員携行セシムルノ着意ヲ朕要トス尚之等被服ノ補修モ上陸地ニ於テハ實施スル餘裕ナキヲ以テ乘船時迄ニ完備シ置クヲ可トス

0727

二乗船時携行スベキ糧秣ノ品種數量ニ関シテハ復員規定附表第十五
第十七ニ示サレアルモ必ズシモ本品種數量ニ限定スルモノニアラズ船内及上
陸地ニ於ケル炊事ノ困難ハ炊事施設ノ不備搭載人員ノ過大燃料ノ整備
困難、天候氣象等ハ當然豫想セラルルヲ以テ勉メテ主食食副食
共携帶口糧(代用品)ヲ充當スルヲ適當トス特ニ上陸後ノ歸卸用携
帶糧食ニ於テ然リトス尙品種數量ハ中國側トノ關係上各地域ニ於テ
相當ノ差異アルベキモ内地ニ於ケル諸般ノ狀況上努メテ多量ニ携行スルモ
ノトス

上陸後ノ歸卸用糧食ハ船内若クハ上陸地ニ於ケル分配ノ煩ヲ避クルヲ以テ乘船途ニ
各人ニ分配携帶セシムルヲ可トスルモ上陸地滞留間用糧食ハ上陸地ニ於テ復
員本部ニ返納スルモノナルヲ以テ事情ノ許ス限リ部隊ニ於テ一括携行スルヲ可
トス船内用糧食モ亦精米ヲ以テ充當スル場合ハ炊飯ノ關係上努メテ取纏
メテ携行スルヲ可トス

第三款 需 品

0728

一 復員規定第三十三條第一號ニ依リ船中時音分新單ニ於テ各船長
 各人ニ日用品及照明材料ヲ支給スル如ク定メテアルモ此ノ際既ニ樂隊
 支給量ヲ著ク超過支給セラル者ヨリ復員部隊相互間ニ給養ニ不均
 衡ヲ避クルタメ速カニ之ヲ引上テ乘船地上級先任ノ指揮官ニ返納スルヲ要
 ス

二 復員規定第三十三條第二號ノ船内所需品ハ船内ノ給養ニ資シ目的
 ヲ以テ炊具食器具照明材料類ノ最小限ヲ携行スル如ク定メラルモナ
 ルヲ以テ其ノ目的ニ添フ如ク携行ノ品種數量ヲ決定スルノ要アリ(乘在ノ如ク)

食缶若クハ汁缶八個 飯杓子五個 汁杓子五個 菜缶五個 野戰炊
 具ノ組 懐中電燈十個 蠟燭百本 燐寸五十個
 尚上陸地ニ於ケル連絡用及運搬用トシテ中國側其他ノ狀況之ヲ許セバ自
 釋車、リヤカー等モ可能ナル限リ携行スルヲ可トス
 三 諸拔水書類等作製ノタメ船内及上陸地ニ於テ使用スル事務用消耗品類ハ當

0729

然ソ、所要見込數ヲ關係者ニ於テ準備携行スル、著意ヲ要ス

第四款 施設

一 復員規定第三十七條土地、建物引継關係書類、將來賠償其他因除紛争處理ノ證據資料トシテ重要ナルヲ以テ各部隊ハ確實ニ保管整理シ乘船前提出シ得ルモノハ夫々系統ノ経テ師團、軍、方面軍ニ提出シ取纏ヒルヲ要ス

二 乘船地ニ於ケル收容施設、復員規定第三十四條ノ如ク乘船地上級官佐ノ指揮官ニ於テ處置スベキモノナルモ各乘船地ニ於ケル建築材料其他工事能力、關係上極度ノ逼迫ヲ予期セザレバカラザルニ乘船亦予定通り實施セザレザル事多カレバキヲ以テ乘船地ニ集結シ部隊ハ包メテ天幕雨覆下敷材料、大工道具、釘、鋸、波形鐵板、鐵線(ナニ奇)絶緣電線、コケント(ネギ入)炊具、礮、水具等宿營材料ヲ携行シ自力解決ヲ期スルヲ要ス

三 各部隊指揮官ハ乘船地(上陸地)諸施設、使用ニ當リテ從來ノ意習クル所謂通過部隊ナル觀念ヲ一擲シ之ガ保全ニ高至リ期シ如ク乘船地上陸

地上級指揮官(復員本部長)出張所長)指示徹底ニ努メ後續部隊便益ヲ圖生要大ナリ

四上陸地ニ於テ諸施設一統テモ之ノ逼迫状況ハ乘船地同様ト推察セラレルヲ以テ各部隊ハ復員規定第三十六條ノ如ク乘船地ノ事情許ヌ限リ成ルベク天幕雨覆類釘釘線波形鉄板鉄線(下二番)絶縁電線ヲテット(ネジ込)等ヲ携行スル努力ヲ乘船地上級先任指揮官ハ適宜之ヲ指導翰旋スルヲ要ス

第五款 最終決算處理

今次終戦ニ伴ヒ昭和十四年支那派遣軍總司令部創設以來ノ派遣軍軍費最後ノ整理締括リテ爲スニテ大陸特殊事情基ク最近ニ眞ニ巨額ニ達スル軍費ヲ如何ニシテ急速ニ且國民ノ疑惑ヲ招来スルコトナク整理齊確ニ其ノ整理ヲ完了スルキヤハ重大ナル問題ナリ特ニ戦面ノ異常ナル擴大ト終戦直後ニ於テル現地ノ一時的混亂ハ貴重ナル關係書類焼却(棄却)ヲ招キ或ハ交通(通信)杜絶ニ依ル整理ノ困難其他膨大ナル生

産業事業又ハ大量ノ調子業務其他ニ香打切ニ基テ對中國官民ノ債權債務經濟關係ノ大牙錯綜等アリテ之ヲ円満適切ニ次済處理スルコトハ頗ル難事ナリ然ルニモ拘ラス終戦後ニ於ケル國內人心ノ動向ハ急轉シ民主主義的傾向ノ強化ニ伴ヒ帝國議會會計検査院等ノ監督力ノ伸長ヲ考フルトキ若シ關係者ニシテノ最^長終決算整理適切ナラザルトキハ軍費完録ニ大^ニ瑕瑾ヲ残スベク爲ス或ハ光榮アル派遣軍ノ名譽ヲ傷ツケンコトナラバコ怖ル^レ之ヲ爲^シ假令一小部隊タリトモ無^キ責任投遣の態度ヲ嚴^シメ上級部隊ハ下級部隊ニ對シ懇切ニ指導スルト共ニ各部隊亦之ヲ整理業務ヲ主計將校ノミニ收任スルコトナリ部隊長以下關係者全員ノ主^任任ト熱^シト^ラ以テ之ニ當^リ凡^ルニ可能ナル手段ヲ講^ジ各部隊毎ニ具^ニ内外ニ對シ恥^ツル處ナ^ク公明正大ナル決算處理ヲ完結^シ以テ瑕瑾ナ^ク派遣最終決算^ヲ書^キヨ^リ連^ルクニ完結スルヲ要^ス

兵派遣軍ニ於テ決算ハ大體ノ所本年一月以降ハ未整理ノ儘終戦ト^リテ故^ニ各部隊ハ東移迄ノ期間内ニ於テ萬難ヲ排^シテ之ヲ確實ニ整理スベク努^メ

0732

カスルヲ要ス尚終戦前後ニ於テ經理關係書類ヲ燒棄(棄)却ルル部隊在リ
 六段令債權債務ノ決済終了セル部分雖モ其證據ヲ次第ニ以テ將來
 國際紛争ノ豫想ヲ以テ如キモハ再々整理ノ要アリ
 三前號決算ハ各兵團ニ於テ責任ヲ以テ之ヲ整理總括ニ行ヒ待船間(資金系
 統)異ニ資金交付部隊ト連絡ニ得ガル場合ヲ除クニ悉ク整理ヲ完了スル
 共ニ軍又ハ予而軍ニ提出ニ整齊トシテ復員ニ得ルハ心掛ケザルベカラズ
 四各部隊債權債務未決算ノ分ニテ眞ニ已マテ得ル事情ニヨリ東船前迄
 二尚悉ク整理ニ得ルモノハ乘船地上級先任指揮所屬經理部ニ引継テ整理
 口依頼スル己ノ事務ヲ了スルベシ過去ノ戰役ニ於テ戰場ヨリノ撤兵ニ當リ國家對
 私人間債權債務ノ決済ヲ明確ニラシメテ之ヲ爲シ論議ヲ醸シ後日長期ニ亘
 リ國際訴訟事件ニテ國家ヲ煩シテ實例尠カラズ況テ帝國敗戦ノ今日
 二於テハ事件ノ多量ニ易キコトモ想像セラルルヲ以テ各部隊ニ對シ國入
 關係ノ債務ヲ現地ニ於テ円満ニ完済スルハ如何ナルヲ要ス
 五金錢及物品出納ニ關スル證據書類並諸帳簿ハ戰時陸軍計算證

明規程會目計法規ニ関スル戰時諸特例及總計主電第三七一號ニ拘ラス
極力之ヲ保存シ上陸地迄各兵團(部隊)毎ニ携行スベキモノトス乘船地ニ於テ金
錢及戰用諸品ニ對スル所管經理部長検査未了ノモアルトキハ上陸後復員長
部經理課長(出張所經理班長)ノ検査ヲ受ケルノ要アルヲ以テ右書類ヲ整備
携行スルモノトス上陸時第一項ノ分ハ先遣シアル方面軍及置經理部職員
出第二項ノ分ハ検査終了後復員本部(出張所)ヨリ直接所屬兵團經理部
迄ニ送付スルモノトス

右書類ハ方面軍及軍ニ於テ隸下部隊ノ分ヲ取纏メケル上復員本部ニ提出
スルモノトス

六從來ヨリ密實施シテ振替送金手續ハ野戰郵便局ノ事務取扱中ハ從來、
通臨時軍事情費前渡資金ニ差継ゲモノトス

七派遣軍分任資金前渡官吏ヨリ、臨時軍事情費前渡資金ノ交付ハ振替日
送金差継ノ場合ヲ除ク外交付セラルルヲ以テ各部隊ハ儲備券及貯銀券、
全面的流通禁止迄ハ手持資金ノ有ル限リ使用ニ差支ナシ從ツテ支拂

0734

及決算ハ残金ハ... 従ヒ提出スルモノトス

入臨時軍事費 前渡資金皆無トナリタル時ハ中國側ヨリ、借入金ニヨリ處
理スルモノトス

前項前渡資金、決算整理ハ取扱帳簿類等一切ヲ區別スルモノトス
凡前渡資金ノ支拂残額ヲ有スル部隊ハ束船前ニ直上分任官ニ返納又ハ最寄分
任官ニ移算ヲ為シタル上締切ヲ行フモノトス

第六款 通貨交換其他私有財産處理

一各人内地ニ携行スル鮮銀券、台銀券、滿銀券ハ上陸地ニ於テ日本銀行券ト左
記金額ヲ限度トシテ交換シ得ル如ク中央ニ於テ決定セラレアルモ儲備券、併銀
券、南方券及軍票ニ交換ニ関シテハ尚且下研究中ナリ

記

將校 見習士官 進士官 五〇〇円 下士官兵 二〇〇円 軍屬 一〇〇〇円
但シ日銀券ハ前項交換限度額内ニ含ミ内地携行スル差支ナシ

二 交換限度ヲ超過スル現地通貨並ニ預金帳、送金小切手其他、證書、證券及ビ第一項指定外、現地通貨其ノ上陸地、日本銀行支店又ハ代理店ニ於テ海運局名儀保管證ト引換ニ保護預メル事ニ由ラテ定メラレアリ

三 第三項ノ通貨交換ニ向未解決、然アリ又第三項ノ保護預メル繁劇ナル上陸地復員業務遂行間至短時間内ニ實施セラルルガ爲メ、最効果的方法ヲ上陸地關係機關ト打合ヒスルニ要アリテ、其細節要領ヲ決定シ得サルモ、近ク何分、亦達セル所ナリ

第三節 醫務

一 東船地ニ級先任指揮官、復員規定第三章條基ク検査並ニ身体検査ニ関シ各部隊、確實狀況ヲ監督シ一部衛生部員ニ委スル弊ヲ生ゼザル如ク留意スルト共ニ之ガ實施ノ重要性ヲ全員ニ徹底セシムルコト緊要シテ、苟モ姑息ナル隱蔽治療自己判断ニ因リ検査回避等、爲メ病毒内地搬入、因テ讓成セシムルヲ要ス

尚外地最終検査機ヲ提ヘ歸郷後、衛生思想向上ニ資スル、若意亦肝要ナリ

二 東船前後ハ四圍ノ状況ニ鑑ミ傳染病發生防止ニ爲防疫重紀ヲ確守シ、特ニ消毒、廁、保清ニ注意シ買食防止ニ爲メ徹底的手段ヲ講ズルヲ要ス

三 東船時輸送間並ニ下船時於ケル外傷及不慮ノ豫防ニ細心ヲ注意ヲ拂フヲ要ス

0736

第四節 會報及訓練

一各部隊隨時(要スレバ毎日)復員會報ヲ開キ人員整理其他業務其諸般ノ事項連絡徹底ヲ計ルヲ要ス(規定第四條)

二各部隊ハ隨時復員ニ關スル各種訓練(就中人員整理輸送書類ノ授受金錢給與等訓練ヲ實施シ以テ整齊ナル復員ノ實施ニ之ガ業務處理ノ向上ヲ圖ルノ著意肝要ナリ)

第三章 乘船後ニ於ケル復員業務

第一節 人員ノ處理

一乘船完了セバ各部隊長ハ更ニ人員整理掌ヲ握リ陸上ニ於ケルヲ要ス
二乘船間各部隊長ハ提出スヘキ諸書類ヲ點檢補修スルト共ニ異動アリタル際ハ其ノ簡度機ヲ失ヒテ關係書類ノ訂正加除ヲ爲シ上陸ト同時ニ完備セルニ
ヨ提出シ得ルヲ要ス特ニ船内死歿者ノ恩賞關係書類ノ整理等ニ注意ヲ

要ス

三乘船間各部隊長ハ上陸後ニ於ケル復員實施準備ニ關シ遺憾ナキヲ期

0737

ハルト共ニ所要ノ事項ヲ部下軍隊ニ徹底シ要スル訓練ヲ實施ス特ニ金錢
ノ授受及之ニ伴フ書類ハ上陸後ニ於テ復員實施ノ隘路クルヘキヲ以テ之
準備ニ関シ萬全ヲ期スルヲ要ス

四 乘船後輸送指樞官ハ乘船各歸還先都道府縣別等ノ別ニ調査
シ上陸後ノ復員完結ト共ニ其先任者ノ指樞ヲ以テ出發セシメ得ル如ク準
備スルモノトス (規定第十一條)

五 上陸地ニ於テ復員命令等ノ受領時集合セシムベキ人員及主計將校遺骨
(屍)ノ奉持(護送)者特ニ急ヲ要スル患者等速ニ上陸セシムベキ人員等ハ豫
メ指示シ上陸當初ニ於テ業務務處理ニ遺憾ナカラシム如ク準備ニ置クヲ要ス

第二章 經理

第一款 金錢

一 復員ニ伴フ諸給典金ハ乘船後豫メ準備セル書類中不完全ナル箇所
ヲ點檢修正シ完全ニ爲シ置クヲ著意肝要ナリ

二 輸送指樞官所屬ノ部隊附先任主計將校ハ同船乘組ノ部隊附主計將校

0738

請求受領代人ヲ指導シ上陸後ニ於ケル金銭業務ノ處理ヲ容易ナラシムル
要マ

一 陸地ニ於ケル諸給與金ハ請求受領代人立會ニ下ニ中隊復分任官ニ對シ復
員本部(出張所)分任官ヨリ直接交付スベキヲ以テ各部隊請求代人ニ委
給受領証ヲ算出内訳書金種區分表委任狀各本部及中隊(之ニ連スルモ
ト)合シ單位毎ニ作製スル支給ヲシテ迅速確實具ナラシムルヲ要ス

右所要資金ハ檢疫終了後復員本部(出張所)分任官ヨリ中隊復分任
官ノ金銭給付所迄携行シ交付スルコトナルベシ

四 各部隊ハ上陸直前復員船ニ派遣セラルベキ復員本部(出張所)分任官又ハ
其代理將校ニ左記事項(調書)ヲ通報(提出)スルヲ要ス

左記

- 一 乗船後船中ニテ死亡セシモノアラバ部隊長ノ調製セル死亡證明書及給與通報
- 二 船中ニテ發病シ陸置病院ニ入院スルモノ
- 三 轉症患者船酔等ニテ歩行困難ナルモノアルトキハ其音ニ對スル上陸後ノ金銭

0739

支給、能否（部隊側ニテ實施シ得ルヤ否）ヲ口頭ニテ通報ス。

右第一號該當者アル時ハ其ノ都度俸給受領証ヨリ其ノ人名ヲ削除シ親金額ヲ訂正スルト共ニ送金要求書ヲ作製シ提出スルモノトス。

第二號第三號該當者ニ對シテハ部隊側ニ於テ本人ニ上陸地ノ通貨兌換俸給等ノ支拂ヲ爲シ得ルヤ不マ確ムラ要ス。

上陸後直ニ入院セシムル者等ニ對シテハ第一號ノ處理ニ準ジ處理スルモノトス。

又輸送指揮官所屬部隊附先在主計將校ハ復員本部（出張所）ノ着彩前同乘組部隊ノ各請求受領代人ニ請給與金關係提出書ヲ類ヲ携

行セシメ集合スル如ク指示シ置クヲ要ス。

六上陸後屍ノ火葬搭載貨物ノ却下ニ使役兵トシテ差出サレシ者及死泊場衛兵トシテ勤務スル者等ニ對スル上陸後ノ金錢給付ヲ確實迅速ニ實施シ得ル如ク豫メ研究シ置クヲ要ス。

0740

第二款 衣糧

一各部隊ハ上陸時ニ於ケル其ノ衣糧裝備（被服、糧秣用品）ニ區分シ各人携帶及部隊携行別トスヲ調査シ上陸時速カニ復員本部（出張所）ニ通報シ得ル如ク準備シ置クヲ要ス

二復員規定第三十二條ニ依リ上陸地帯留間、給養本部ノ隊ノ携行スル糧食ニ依リ部隊自炊スル如ク規定サレテルモ上陸地帯ト宿營地帯トノ相當離隔シタル場合ヲ豫想セラレ又至短時間内ニ復雜ナル業務ヲ處理シ乗車歸郷スルノ要アリテ時間、運搬勞力等ノ餘裕極メテ少ナカルヘク之ヲ爲部隊携行糧食品（歸郷時携行用ヲ除ク）ハ悉ク上陸地帯ニ於テ復員本部ニ返納セシメ上陸地帯留間部隊所要ノ糧食品ハ宿營地附近ニ於テ復員本部ヨリ受領スル如ク實施セラルル筈ニ付船内及船内豫備糧食ハ

0741

使用残粒ニ上陸地帯留間用糧食ハ上陸直後ニ若指乘
ノ位置ニ於テ復員本部ニ返納シ得ル如ク準備シ置クモ
ノトス
三 各部隊長ハ輸送指揮官ハ船舶備付寢具其他諸物品
ノ亡失毀損等ノ防止ニ関シ格別ノ留意ヲ要ス

第三款 需品

一 船内ノ炊事施設ハ原則トシテ船舶機関ニ於テ準備スヘキ
モ不足セル場合ハ乗船部隊ノ携行スル簡單ナル炊具ニ
之ヲ補充ヲ要スルコトアルヘシ
若シ如キ場合ヨ願慮シ輸送指揮官ハ乗船後ナルベク速
カニ船内ノ状況ヲ調査シ乗船各部隊ノ携行シアル船内
所要需品類ヲ一括シテ最モ有効適切ニ運用スルノ著意
肝要ナリ

0742

又炊事、防疫的管理ニ就キテハ特ニ周到ナル注意ヲ要ス

ニ各部隊ハ上陸時ニ於ケル其ノ需品(船内所要需品、使用残照明材料其他各人携行シタル日用品等)ノ員數ヲ調査シ上陸時速カニ復員本部(出張所)ニ提出シ得ル如ク書類ヲ完備シ置クヲ要ス

三携行セル天幕、雨覆等ハ上陸地ニ於テ使用後復員本部(出張所)引継グ爲之カ目錄ヲ調製シ置クヲ要ス
各部隊ハ上陸入港直後上陸地ニ於ケル遺留品遺留品患者隊属貨物衣糧諸品等運搬ニ要スル運搬具(自動車貨車、リヤカ、荷車等)ノ所要數(簡單ナル算出内訳ヲ附ス)ヲ復員本部連絡者ニ通報シ得ル如ク調査シ置クモトス

0743

第四款 最終決算ノ處理

一各部隊ハ決算整理業務ヲ勉メテ乘船迄ニ完了スル
ヲ要スルモ止ムヲ得サル場合ハ乘船間ノ最後ノ機會ヲ利
用シ決算整理ヲ完了シ或ハ關係書類ヲ點檢手入シ
上陸後ハ金錢給與其他ノ實行業務ニ專念シ得
ル如ク著意スルヲ要ス

第三節 醫務

一各部隊附先任軍醫將校ハ上陸地檢疫ニ先立テ左
記事項ニ就キ復員本部（出張所）係員ニ説明ノ爲
豫メ調査整理ニ置クヲ要ス

左記

一輸送間ニ於ケル衛生業務

病類別患者發生數傳染病發生ノ有無死歿者

0744

ノ有無及乘船前ニ於ケル當該部隊ノ衛生狀況特ニ
傳染病ノ發生狀況

2 船内給養、給水及休養ニ関スル事項

イ 給養ノ適否(患者食ノ狀況)要スレバ食需量
口給水ノ適否

ハ 一人占有面積、及占有容量(目測ニテ可)

3 衛生材料ノ狀況

イ 携行衛生材料ノ消費狀況(品目数量)

ロ 特ニ輸送間不足シタル衛生材料

ハ 其他改善ヲ要スヘキ事項

二 各部隊ハ上陸地ニ於ケル檢問並ニ檢疫ノ實施要領ヲ一般

ニ徹底セシメ遺漏ナカラシムルト共ニ死節時ノ減少ニ勉ムル

ヲ要ス

三 輸送指揮官ハ軍醫將校配屬ナキ部隊ノ診療ニ関シ同

0745

乘、他部隊附軍醫將校ヲシテ担任實施セシムルヲ要ス
四輸送中死亡者アリケル場合其ノ屍ノ處置ハ概ネ次ノ如ク
實施スルモノトス

人口腔、鼻腔、肛門ニ綿栓ヲ施シ上陸地ニ於テ復員本部
出張所ニ掛官ノ指示ヲ受クルモノトス

之狀況上屍ヲ上陸地迄輸送不可能ナル場合ハ爪髪等ヲ残シテ水葬ニ上
陸地ニ於テ掛官ノ指示ヲ受クルモノトス

第五章 其他

一 軍人軍屬ノ職業補導ニ關シテハ復員規定第四十四條ニ
依ル、外次ノ如ク、器具施スルモノトス

ノ現役將校ノ就職希望(決定)調書ニ部ヲ別紙(省思復員規定参照)
様式ニ依リ内地港灣上陸時南支派遣軍復員本部
ニ提出ス(總人第九八八號)

二 各所管ハ陸普電第四一七號第一項ニ依ル軍人(將校

下士官、兵及軍屬、内地歸還後、職業斡旋調査資料ヲ陸軍大臣宛報告スルト共ニ支那派遣軍職業補導部ニモ同様ノモノヲ通報ス

右報告ニハ從前ノ職業及新規ノ希望職縣別爲ニ得レハ歸還見込ノ者ヲ區分ス（總支職補電第二號）

二前各章ノ外金錢關係業務ノ處理ニ就テハ附録第四復員ニ伴フ金錢經理ノ参考ヲ参照スルモノトス

0747

結言

多年歴戦威武ヲ戦野ニ布キシ派遣軍ハ近ク祖国
日本ニ復員ノ第一歩ヲ發足セントス

既往ヲ顧ミ現況ヲ思フ時誰カ切々タル感慨ナキモノアラ
シ萬感盡クルナク表情極ナシ唯言之ヲ現ハスニ及バズ
辭之ヲ述ブルニ足ラザルヲ如何セン

然リ而シテ今次復員ハ將來ノ建設ヘシ一大過程ニシテ
復歸スヘキ百萬將兵ハ眞ニ是レ國家再建ノ中核タ
ルヲ思ヘバ之カ復員ノ整齊タル實施ハ國家ノ重大関
心事タラズンバアラス特ニ統率ノ責ニ任スル指揮官ノ
現下ニ於ケル最大ノ任務タリト云フベシ

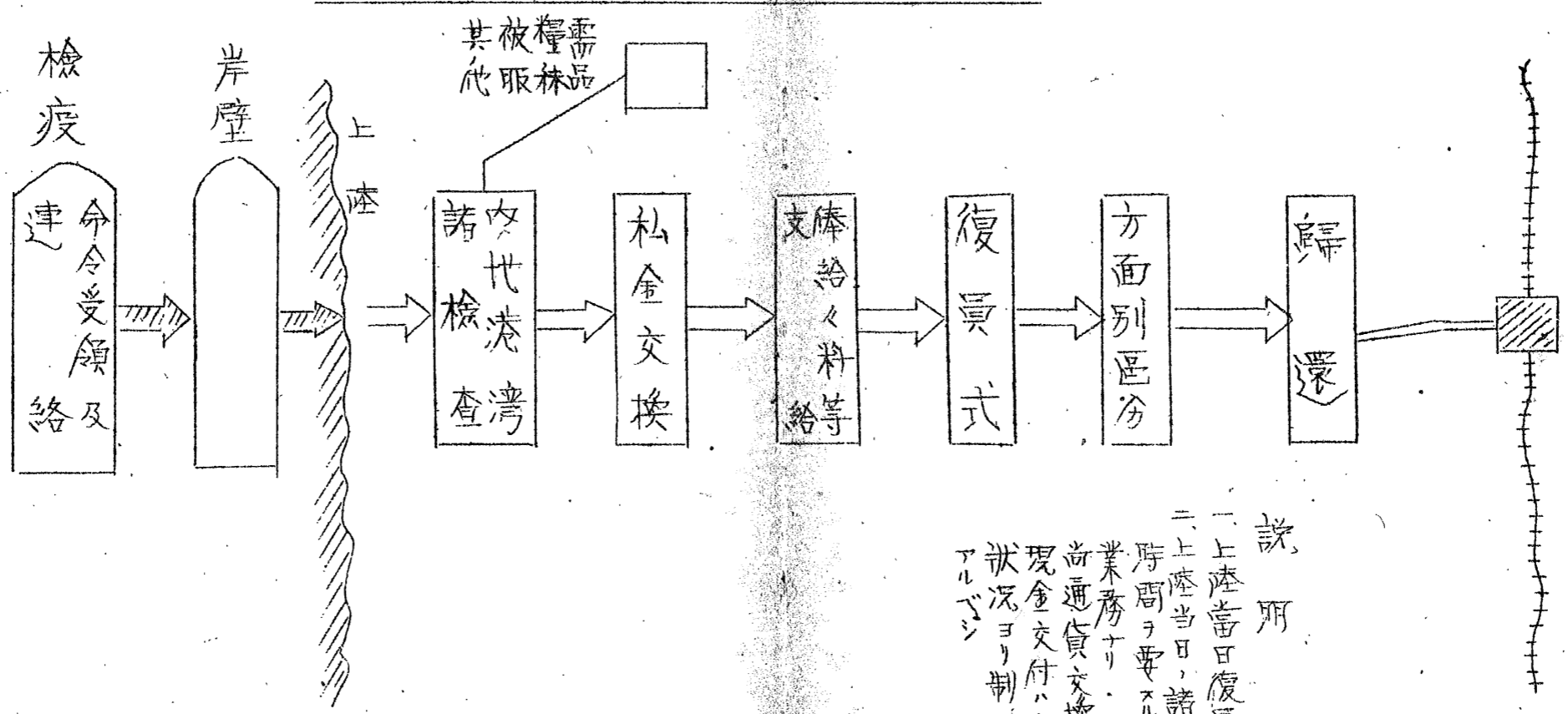
我等復員補佐ニ任ズル者深ク右ヲ銘肝ニ祖国
再建ヘシ一大勇猛心ヲ暫クノ間唯一向ニ百萬將兵ノ復
員業務ニ傾注シ假令世情變轉シテ推移スルコト

0748

アルモ自ラ操守ヲ保テ黙々萬苦ニ耐ヘ繁雜地味
ナル復員業務ノ處理ヲ完遂センコトヲ期セサルヘカラス
本參考ハ復員業務完遂ノ參考タラシメンガ爲編
纂セルモノ終ニ臨ミ微意ヲ述ベテ結言トナス

0749

入港ヨリ、販還迄、行動



別紙第一

説明
 一、上陸當日復算完了時
 二、上陸当日、諸行事中最モ
 時間ヲ要スルモノハ金銭
 業務ナリ。
 尚通貨交換及其他、
 現金交付ハ内比一般ノ
 状況ヨリ制限セラルコト
 アルバシ

豫備役編入(召集解除)及高等文官退官處理要領一覽表

役種階級区分	規		役	召集	將校 (時志)	高等文官及 可待遇者
	將官及 大佐	佐官 (大佐を除く)				
豫備役編入(召集解除)シ得ル範圍	<p>一、所屬部隊復員完了時、時ニ於テ、業務上全然残留留スル必要ナク且豫備役編入ヲ希望スル者(人往特第一號)</p> <p>二、所屬部隊復員完了時、時ニ於テ、業務上全然残留留スル必要ナク且豫備役編入ヲ希望スル者(人往特第一號)</p> <p>三、現地ニ於ケル豫備役編入ノ外、他ニ在留ヲ希望スル者及シテ、他ニ必要ト認めル者ニシテ、陸軍大臣ニ進達スルモノトス</p> <p>四、(人往特第一號)</p>	<p>一、所屬部隊復員完了時、時ニ於テ、業務上全然残留留スル必要ナク且豫備役編入ヲ希望スル者(人往特第一號)</p> <p>二、所屬部隊復員完了時、時ニ於テ、業務上全然残留留スル必要ナク且豫備役編入ヲ希望スル者(人往特第一號)</p> <p>三、現地ニ於ケル豫備役編入ノ外、他ニ在留ヲ希望スル者及シテ、他ニ必要ト認めル者ニシテ、陸軍大臣ニ進達スルモノトス</p> <p>四、(人往特第一號)</p>	<p>一、所屬部隊復員完了時、時ニ於テ、業務上全然残留留スル必要ナク且豫備役編入ヲ希望スル者(人往特第一號)</p> <p>二、所屬部隊復員完了時、時ニ於テ、業務上全然残留留スル必要ナク且豫備役編入ヲ希望スル者(人往特第一號)</p> <p>三、現地ニ於ケル豫備役編入ノ外、他ニ在留ヲ希望スル者及シテ、他ニ必要ト認めル者ニシテ、陸軍大臣ニ進達スルモノトス</p> <p>四、(人往特第一號)</p>	<p>一、所屬部隊復員完了時、時ニ於テ、業務上全然残留留スル必要ナク且豫備役編入ヲ希望スル者(人往特第一號)</p> <p>二、所屬部隊復員完了時、時ニ於テ、業務上全然残留留スル必要ナク且豫備役編入ヲ希望スル者(人往特第一號)</p> <p>三、現地ニ於ケル豫備役編入ノ外、他ニ在留ヲ希望スル者及シテ、他ニ必要ト認めル者ニシテ、陸軍大臣ニ進達スルモノトス</p> <p>四、(人往特第一號)</p>	<p>一、所屬部隊復員完了時、時ニ於テ、業務上全然残留留スル必要ナク且豫備役編入ヲ希望スル者(人往特第一號)</p> <p>二、所屬部隊復員完了時、時ニ於テ、業務上全然残留留スル必要ナク且豫備役編入ヲ希望スル者(人往特第一號)</p> <p>三、現地ニ於ケル豫備役編入ノ外、他ニ在留ヲ希望スル者及シテ、他ニ必要ト認めル者ニシテ、陸軍大臣ニ進達スルモノトス</p> <p>四、(人往特第一號)</p>	<p>一、所屬部隊復員完了時、時ニ於テ、業務上全然残留留スル必要ナク且豫備役編入ヲ希望スル者(人往特第一號)</p> <p>二、所屬部隊復員完了時、時ニ於テ、業務上全然残留留スル必要ナク且豫備役編入ヲ希望スル者(人往特第一號)</p> <p>三、現地ニ於ケル豫備役編入ノ外、他ニ在留ヲ希望スル者及シテ、他ニ必要ト認めル者ニシテ、陸軍大臣ニ進達スルモノトス</p> <p>四、(人往特第一號)</p>
實施要領	陸軍大臣ニ申練(陸軍系統ノ経)	所管長官並ニ之ト同等以上ノ權ヲ有スル者	陸軍大臣ニ進達スルモノトス	所管長官並ニ之ト同等以上ノ權ヲ有スル者	所管長官並ニ之ト同等以上ノ權ヲ有スル者	所管長官並ニ之ト同等以上ノ權ヲ有スル者
豫備役編入(召集解除)者處置	<p>豫備役編入シタル者ニ別紙(未刊)ノ様式ヲ調製シ、其ノ一部ヲ送付一部ヲ支那派遣軍復員本部ヲ經由シテ、陸軍大臣ニ進達スルモノトス</p> <p>(人往特第一號)</p>	<p>別紙願書様式(未刊)ノ様式ヲ調製シ、其ノ一部ヲ送付一部ヲ支那派遣軍復員本部ヲ經由シテ、陸軍大臣ニ進達スルモノトス</p> <p>(陸軍大臣ニ進達)</p>	<p>召集解除シタル者ニ別紙(未刊)ノ様式ヲ調製シ、其ノ一部ヲ送付一部ヲ支那派遣軍復員本部ヲ經由シテ、陸軍大臣ニ進達スルモノトス</p> <p>(人往特第一號)</p>	<p>召集解除シタル者ニ別紙(未刊)ノ様式ヲ調製シ、其ノ一部ヲ送付一部ヲ支那派遣軍復員本部ヲ經由シテ、陸軍大臣ニ進達スルモノトス</p> <p>(人往特第一號)</p>	<p>召集解除シタル者ニ別紙(未刊)ノ様式ヲ調製シ、其ノ一部ヲ送付一部ヲ支那派遣軍復員本部ヲ經由シテ、陸軍大臣ニ進達スルモノトス</p> <p>(人往特第一號)</p>	<p>召集解除シタル者ニ別紙(未刊)ノ様式ヲ調製シ、其ノ一部ヲ送付一部ヲ支那派遣軍復員本部ヲ經由シテ、陸軍大臣ニ進達スルモノトス</p> <p>(人往特第一號)</p>
備	<p>一、現役將校ニシテ豫備役編入ヲ希望セサル者ハ、所屬部隊復員完了時、時ニ於テ、其ノ上陸地ヲ管轄スル軍管司令官ノ定ムル部隊ニ轉属スルモノトス</p> <p>(陸軍大臣ニ進達)</p> <p>二、現地ニ於ケル豫備役編入及召集解除ハ、居留民ノ現況及支那側トノ關係ニ鑑ミ、部隊長ニ於テ詳カニ審査シ、上就職確定シ、適當ト認めル者ニ限定ス</p> <p>但シ召集將校、大佐ニ於テハ、豫備役編入ノ経テ、總司令官ニ報告スルモノトス</p>					

別紙 第三

何朕隊區遺骨遺留品名簿

第何朕隊

考 備 計	荒 番	前 窟	前 後 代 氏 名 本籍地	留守担当者		遺 留 品 類	
				死 亡	死 亡		
				死 亡 場 所	死 亡 場 所		
<p>1. 本籍地朕隊區毎ニ区分スレモトス 2. 遺留品ハ別ニ目錄ヲ附スレモトス</p>							

0752

別紙第四

遺留品目録

所屬部隊

本籍地

留守担当者
住所氏名

故陸軍。等氏名

年月日	品目		品目	
	品目	数量	品目	数量
独立歩兵第五十六大隊中隊長氏名 印				

0753

附録第一

支那派遣軍復員本部、機構及業務、大要

區分	業務、大要
總務課	〔更ニ庶務班人員班其、他若干、班ニ分ツ〕 命令事項、人事、電報文書、受理發送、通信 人員處理〔一般飯還者、還送者、處刑者、死者、生死不明者、恩典、遺骨、遺留品關係〕 復員部隊、鐵道〔船舶〕輸送、上陸地小運送及宿營ニ關スル業務等
經理課	〔更ニ若干、班ニ分ツ〕 上陸地金銭諸給與、決算整理一般、通貨交換帳簿檢査、郵便貯金處理、 糧食補給調達、管理引上、返納被服、處理、 返納用品、處理、燃料調達、補給、運送具、調達、諸施設事項等
醫務課	〔更ニ若干、班ニ分ツ〕 一般飯還者、上陸地衛生、輸送病、患者、死者、處理、 檢疫診療、 飯還部隊携行衛生材料、整理等
備考	一本表ハ飯還部隊ニ直接必要ナル業務ノ記載セリ ニ出張所ニ在リテ、庶務班人員班、医務班等ニ區分セリ、概テ前記業務ヲ遂行ス

附録 第二

陸軍部第一九〇九號 (昭和二十年九月二十八日)

一 外征部隊歸還ニ伴フ上陸地支局等ノ件ニ達

一 各軍管區司令官ハ外征部隊歸還ニ伴フ上陸地ノ兵站

業務ヲ統轄スルモノトス

二 各軍管區司令官ハ速ニ夫々北部(小樽)関東(浦賀)北

陸第一(新潟)東海(清水)北陸第一(敦賀)近畿(阪神)

中國(廣島)九州(関門)上陸地ニ上陸地支局ヲ設置スルモノトス

三 上陸地支局ノ業務左ノ如シ

上陸軍人軍屬等ノ宿營休養

上陸指導 上陸援助

鐵道輸送處理

上陸地檢疫ノ援助

救急診療

陸軍部第一九〇九號 (昭和二十年九月二十八日)

0755

歸還遺骨遺留品、處理

上陸軍人軍屬等ニ對スル軍需品、給養等外地ニ對

スル補給品等、保管及積込等

其他臨機、業務

四上陸地支局長ハ上陸業務、爲上陸地ニ派遣セラル、軍人軍

屬又上陸(外地ヨリ)歸還セル軍人軍屬(部隊ヲ含ム)僚長

局長ヨリ上級先任者ニ對シテハ此限ニ在ラズ

五憲兵司令官、陸軍留守業務部長、陸軍東京經理部長

ハ夫々上陸地ニ於ケル軍事警察、人員、調査、資金、受領

又ハ交付帳簿、受領等、爲所要、人員ヲ上陸地ニ派遣ス

ルモノトス

前項ニ依リ上陸地ニ派遣セル人員ハ上陸地支局長、區處ヲ承

ケルモノトス

0756

六上陸地支局ハ所在地ノ地名ヲ冠シ「九州上陸地支局」等ト稱呼

スルモノトス

七上陸地支局長ハ每日上陸人員其ノ他所要ノ事項ヲ電報ヲ

以テ陸軍大臣ニ報告スルモノトス

註豫想上陸地(關係軍管區)左ノ如シ

小樽 函館(北部) 敦賀、舞鶴(中部)

新潟 浦賀(東部) 清水(東海) 阪神(中部)

廣島 宇品 吳(中國) 關門博多 仙崎(西部)

0757